授業コード/ Code	科　目　名 / Course Title	担当者 / Instructor	履修年次 / Semester	授業形態・単位数/ Style・Credits	必修選択の別/ compulsory subjects or optional subjects
j29311	社会的養護Ⅱ	加賀　孝幸	2年次・後期	演習・1単位	保育士必修

授業の概要 / Course Outline

既習の知識である社会的養護の概要について確認をした上で、児童養護施設における養護を必要とする児童の事情や特性について、実際の「生活モデル」でとらえ、本人への援助のみならず包括的な福祉を見通した家族や地域、関連機関との連携について解説を行う。

到達目標 / Attainment Objectives	ディプロマポリシーとの対応関係 / Relationship with the diploma policy
1. 社会的養護における子どもの権利擁護について理解する。	A-②　B－②
2. 施設養護および家庭養護の役割や機能について理解する。	A-②　B－②
3. 個々の児童に応じた支援計画や、日常生活の支援、自立支援の内容について理解する。	A-②　B－①　B－②
4. 児童福祉施設での保育士の役割を学び、支援者としての援助実践力を身に付ける。	A-①　B－②　C－①

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
定期試験(筆記) End of Semester Examination (Written)	60%	講義内容の理解を問う
レポート試験 Report Examination	20%	授業中に行うリアクションペーパー
実技試験 Practical skill test	0%	
平常点評価 Continuous Assessment	20%	授業への参加、授業内での課題の提出状況など総合的に評価

教科書 / Textbooks

吉田眞理　編著『児童の福祉を支える〈演習〉社会的養護Ⅱ』(第2版)(萌文書林、2023年)

参考書 / Reference Books

授業内に適宜紹介する。

予習・復習 / Preparation・Review

授業内容に関わる教科書の該当部分を読んで予習し、授業後は該当箇所を読み復習すること(予習復習の時間は90分程度)。

課題に対するフィードバック方法 / How to give feedback on tasks

課題およびリアクションペーパーについて、内容をチェックしコメントを行う。また、最終授業時に全体向けにフィードバックを行う 。

特記事項 / Special Note

【実務家教員】児童養護施設の指導員ならびに相談員としての経験をもとに、社会的養護の基礎知識、相談援助の方法と技術について講義する。

授業スケジュール / Course Schedule

※履修している学生に対して事前に説明があった上で、変更される場合があります。

授業回数 Lecture	テーマ / Theme 内容 / Contents
01	**オリエンテーション** 社会福祉援助者としての心構えと自己覚知について学ぶ。
02	**児童養護の現状と課題の理解** 千葉県を中心とした児童養護の実際と課題について学ぶ。
03	**施設養護のプロセスの理解** 対象児の把握、施設入所、養護開始の過程を事例を通して学ぶ。
04	**児童養護施設職員の理解** 児童養護施設で働く職員の職種と業務内容・役割について学ぶ。
05	**児童養護施設における保育士の役割** 児童養護施設における保育士の養護援助や支援の内容について学ぶ。
06	**養護される児童の理解(1)** 児童養護施設で養護を受ける児童の特徴について学ぶ。
07	**養護される児童の理解(2)** 児童や家庭のアセスメントや記録方法などの知識と技能を学ぶ。
08	**養護される児童の理解(3)** 障害児(者)に対する支援についてロールプレイングを通じて学ぶ。
09	**保護者の理解と援助** 児童の保護者と家庭の理解と援助の内容について学ぶ。
10	**児童養護を支える機関と連携** 地域・学校との関係づくりや地域社会での職員の役割について学ぶ。
11	**家庭養護の現状** 里親制度、養子縁組制度などの家庭養護における現状と特性について学ぶ。
12	**児童福祉施設の運営管理** 児童養護施設を中心に施設の運営管理について学ぶ。
13	**被虐待児のケースワーク** 子どもの保護と施設への受け入れ、養護の内容と過程について学ぶ。
14	**児童の自立に向けた支援と理解** 児童の最善の利益と権利擁護、自立への専門的援助を再考する。
15	**総括(フィードバック含む)** 学習内容を振り返り、社会的養護の理解を深める。